

就労継続支援B型事業所ドルフィン

SDGsの取組

取組・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいを持った方々にも就労の場を提供し、高い工賃を得られ働きがいと経済的余裕を生み出すようにする。 ・困難な状況にある子ども達にも外食の機会を提供する。 ・期限切れ間近の食材をフードバンクへ寄付したり、障がい者の方への無償ランチに利用したりして、食品ロスを無くす。 			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	1 8	就労継続支援B型事業所に通所する障がい者の方が得る工賃を高め、働きがいと経済的余裕を生み出すようにする。	利用者の方が通所開始して1年半の間に、工賃を全国平均時間額222円の約1.5倍に相当する350円を超えることを目指す。
	社会	2	「こども食堂」を開催し、困難な状況にある家庭の子どもたちにも外食の機会を提供する	「こども食堂」を年6回以上、開催する
環境	11 12	レストランから出る生ごみを使用して堆肥を作ることで廃棄物の排出を抑え、環境への悪影響を抑え、農業に生かす。期限切れ間近の食材をフードバンクへ寄付したり、「こども食堂」「障がい者の方への無償ランチ」に利用したり食品ロスの軽減に努める。	2024年中に生ごみの廃棄量を1日あたり10%の削減を目指す。「こども食堂」を年6回以上開催する。月に1回、障がい者への方々へのランチを無償提供する。	